

校区コミュニティの現状認識は

馬場 政英 議員



開業後、賑わいを見せたタマスタ筑後

答 地域での検証・分析が十分ではなかった

問 市長は3年かけて行
政区との役割分担などを
整理し、明確な提案をす
ると言っていた。その間
現場の意見を聴くために
各コミュニティの事務所
を訪問したことはあるか。
市長 自身は事務所に
行ったことはない。

タマスタ筑後の賑わいをどう 広げていくか

問 本年度残りの期間で
校区コミュニティをテー
マにした校区懇談会を開
催するというのだが、
この3年間で開かなかつ

市長 周辺は優良農地で
転用がなかなか難しい。
今後は駅周辺の構想を描
き、球場西側のみやまし
との協議も始めたい。
問 その際、既存の部署
ではなく横断的な担当が
必要では。
総務部長 当面は庁内の
横断的な各部署から農地
や都市計画担当、財政担
当などが集まったプロジ
ェクト対応を考えている。

ひきこもり支援は

松竹卓生 議員

答 今後も関係機関と
連携し、支援を
ついでいきたい

問 ひきこもり者の支援
はどうなっているか。
市長 ひきこもり者の存
在は認識している。福祉
課に自立支援相談員を配
置し、関係機関と連携し
ながら相談支援をしてい
る。

福祉課長 社会福祉協
会は「不登校・ひきこも
り家族会」やひきこもり
がちな若者の居場所、働
く場としての「ふらつと
スペース」を実施してい
る。これらは対策として
有効だと考えており、今
後も関係機関と連携し、
支援を図っていきたい。

問 制度導入のきっかけは。
市長 都会的な感覚、経
験を持った人が来てくれ
ること、国が特別交付
金で人件費と活動費を負
担することはありがたい
話。総合的に勘案して導
入した。期待通りの役割
を果たしている。

企画調整課長 開いてい

問 任期終了後は。
企画調整課長 制度的に
は最大3年の任期終了後、
起業することが望まし
いとされており、起業資金
を一定支援する制度につ
いて検討中である。

問 現在、3人の地域お
こし協力隊員がいるが、

期待通りの役割を 果たしている 地域おこし協力隊



地域おこし協力隊が企画した麦畑ワークショップ
(馬間田地区)